

(財) ひょうご環境創造協会
将 来 ビ ジ ョ ン

平成 2 4 年 3 月
(財) ひょうご環境創造協会

1 はじめに

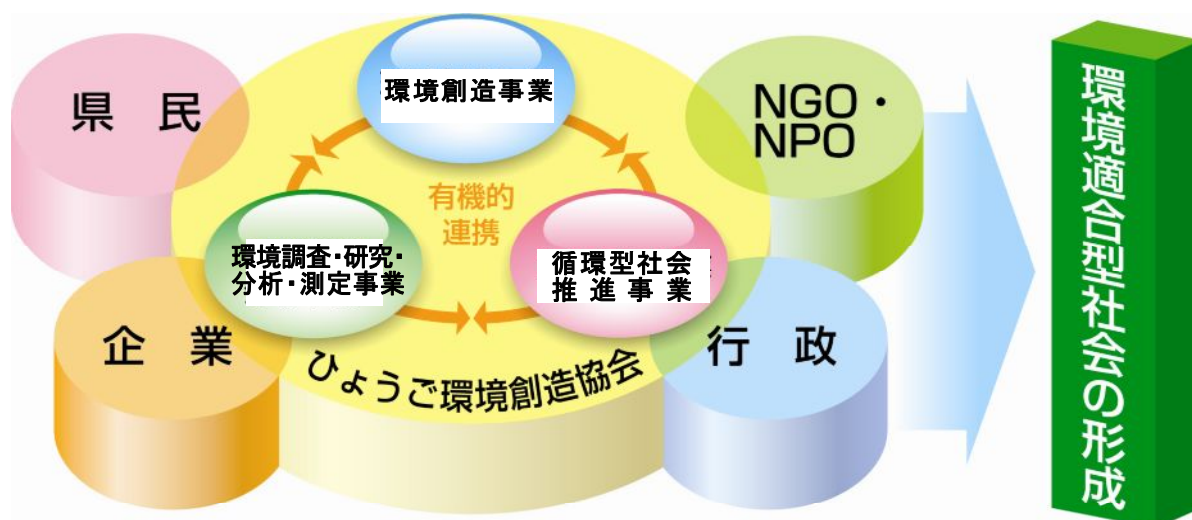
当協会は、平成 21 年 4 月に兵庫県環境研究センターを、平成 22 年 4 月に(財)兵庫県環境クリエイトセンターを統合し、地球規模から地域レベルまで幅広い環境問題に対し、一元的・総合的に取り組む体制を整えた。また、平成 25 年 4 月の公益財団法人への移行を目指している。

こうした状況を踏まえ、今後の活動の指針として将来ビジョンを定めた。

2 協会の使命

環境適合型社会の形成

(財)ひょうご環境創造協会は、「環境適合型社会」の形成を目指し、(1) 環境に関する県民、事業者の実践活動の促進及び行政との連携・調整 (2) 環境に関する調査・研究・分析・測定 (3) 廃棄物等の適正で広域的・効率的な処理 により、環境の保全と創造に資することを使命とする。



3 協会の特徴

(1) 環境問題に一元的・総合的に取り組む団体

地球温暖化防止や生物多様性の保全、循環型社会の構築、環境に関する調査・研究・測定・分析、環境保全・創造活動の普及啓発など、地球規模から地域レベルまで幅広い環境問題に一元的・総合的に取り組む。

(2) 県民、NGO・NPO、企業、行政をつなぐ中間支援組織

環境保全・創造活動の展開には、県民、NGO・NPO、企業、行政など、それぞれの組織特性を踏まえた連携、協力が不可欠であり、多様なネットワークで異なるセクターをつなぐ中間支援組織としての役割を担う。

(3) 多様化する社会ニーズに対応する公益法人

個人の価値観が多様化し、多岐にわたる社会ニーズに対応するため、民間非営利部門である公益法人として、柔軟かつ機動的な活動を展開する。

4 各事業の目標

(1) 環境創造事業

目標 県民・NPO・事業者等の信頼を基に、環境分野の中間支援組織として、環境保全・創造活動を促進する。

〔今後の方向性〕

- ① 市町、県民、事業者、民間団体に尊重されるべき基本指針として定められた第3次兵庫県環境基本計画に掲げる施策目標である「地球温暖化の防止」、「生物多様性の保全」に向け、普及啓発や環境学習・教育の推進を図る。
- ② 県民、企業、NPO等活動団体、行政のネットワークの構築を推進し、環境に関する実践活動の促進を図る。
- ③ 県やNPO・事業者等との役割分担、費用対効果等の観点から事業の見直しを行い、各事業の優先度を見極め、選択と集中を徹底する。

(2) 循環型社会推進事業

目標 廃棄物等の適正で広域的・効率的な減量、再生、処分など循環型社会の構築を目指す。

〔今後の方向性〕

- ① 第3次兵庫県環境基本計画に掲げる施策目標である「循環型社会の構築」に向け、普及啓発や環境学習・教育の推進を図る。
- ② 市町等が担う一般廃棄物処理事業において、廃棄物処理施設運営への助言や、市町単独では対応できない施設整備などへの専門的な支援を行う。
- ③ 兵庫県内廃棄物の広域処理機能を担う。

(3) 環境調査・測定分析事業

目標 技術の高度化、精度管理の徹底による迅速・正確な環境調査・測定分析の実施を通して、地域環境を保全する。

〔今後の方向性〕

- ① 精度管理を徹底し、迅速・正確な対応により、協会への信頼と顧客満足度の向上を図る。
- ② 職員の企画能力、調査・分析技術の向上など、計画的な人材育成を行い、環境調査・コンサルティング事業を拡充・強化する。
- ③ 測定分析事業の特徴的な分野を強化しつつ、業務の効率化、計画的な機器整備を進める。
- ④ 兵庫県環境研究センターとの一体的運用により、調査・分析技術の向上を図るとともに、業務の効率化、受託の拡大を図る。

(4) 環境研究事業（兵庫県環境研究センター事業）

目
標

環境危機管理・対応能力等を最大限に活かし、多様化する環境事案に的確に対応するとともに、高度な環境研究を推進する。

〔今後の方向性〕

- ① 環境危機に対する解決策や予防策を科学的・技術的知見に基づき県に提案するとともに、予見される新たな環境事案に関して、産官学との強い連携を活かした調査研究を行う。
- ② 国、他府県の研究機関、大学等との連携を強化し、効果的に調査研究を推進するとともに、国等の外部資金の積極的な獲得を図る。
- ③ 環境研究センターが有する計画立案・評価や測定分析の技術を各部へ移転するとともに、測定分析部門との一体的運用により、業務の効率化を図る。
- ④ 蓄積された技術や情報を活用し、国の精度管理プログラムに積極的に参画するとともに、計量証明部会等と連携し民間分析機関の精度管理を支援する。

(5) 国際協力事業

目
標

世界各地の環境保全の取組みを支援する。

〔今後の方向性〕

- これまで培ってきた知見、経験、技術を活かし、持続可能な開発に向け、世界各地の環境保全の取組みに協力する。